

人口ビジョンの改訂について

今回の変更

変更点

人口動態の将来展望(現大刀洗町人口ビジョン35P～36P)を変更。

変更の理由

H27年度策定の大刀洗町人口ビジョンにおいて目標人口を設定。

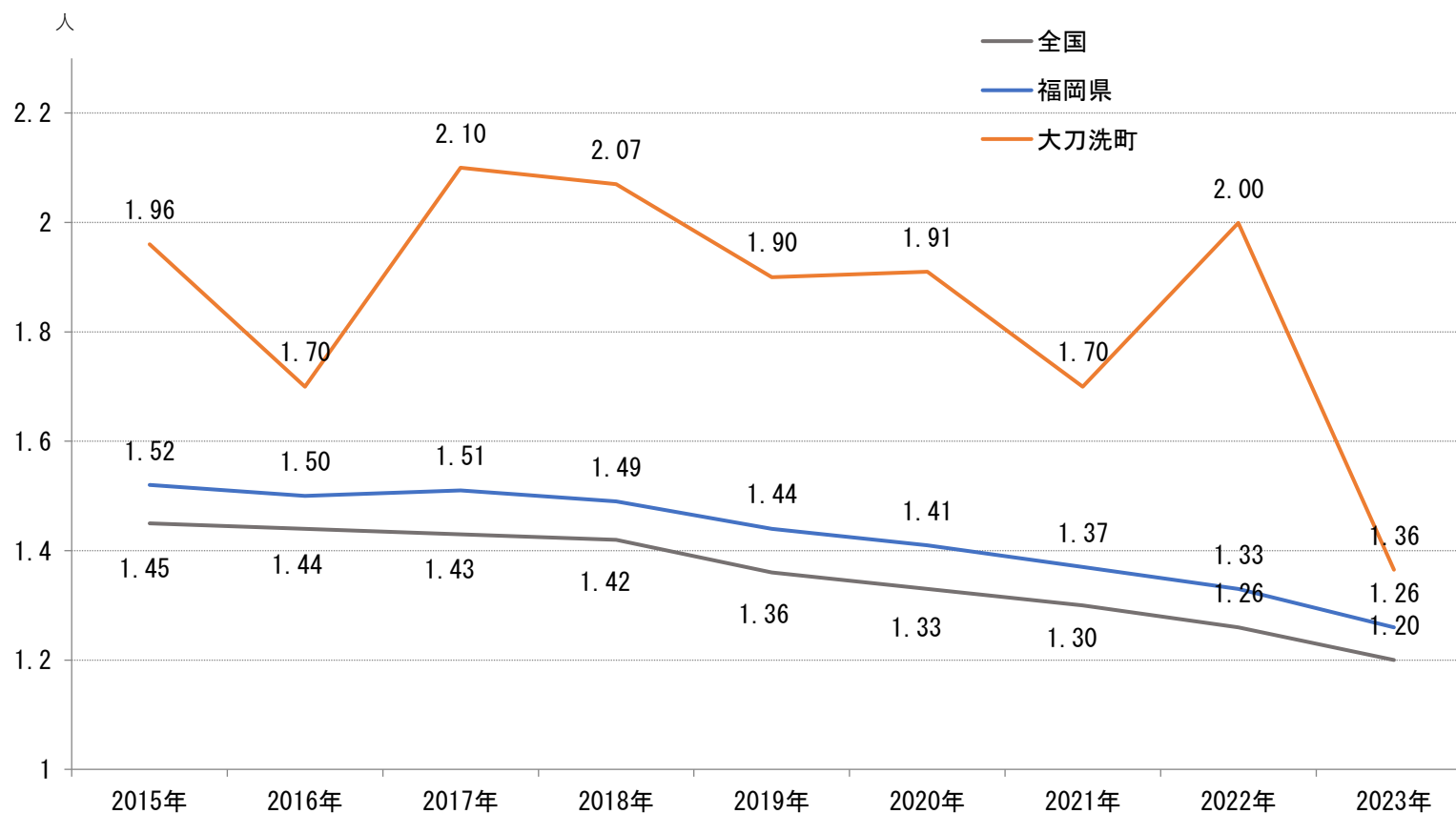
R2年国勢調査にもとづく社人研推計は上記目標人口よりも大幅に上回っており、現状との乖離が生じているとみられるため、あらためて国提供のワークシートを用いて将来展望を行うもの。

町の人口の現状・推計に係る論点

出生に関すること

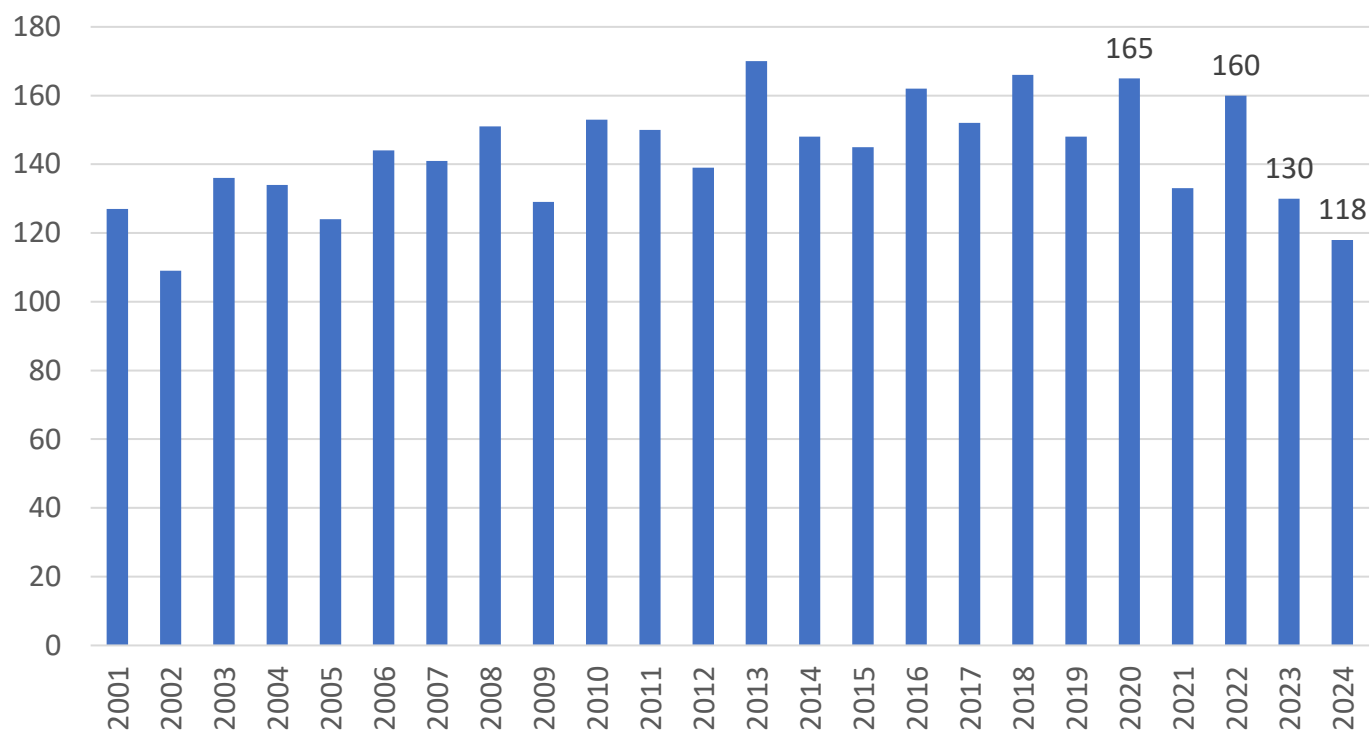
- 過去5年間(2018-2020)の出生率は1.96と高い水準で推移しているが、2023年の出生率は低下している。また、2023年・2024年と出生数が減少している。この傾向をどうみるか、人口推計にどう反映させるか。

合計特殊出生率



	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
全国	1.45	1.44	1.43	1.42	1.36	1.33	1.30	1.26	1.20
福岡県	1.52	1.50	1.51	1.49	1.44	1.41	1.37	1.33	1.26
大刀洗町	1.96	1.70	2.10	2.07	1.90	1.91	1.70	2.00	1.36

出生数



	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
出生数	127	109	136	134	124	144	141	151	129	153	150	139
	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
	170	148	145	162	152	166	148	165	133	160	130	118

単位（人）※各年度、前年10月～当年9月までを集計

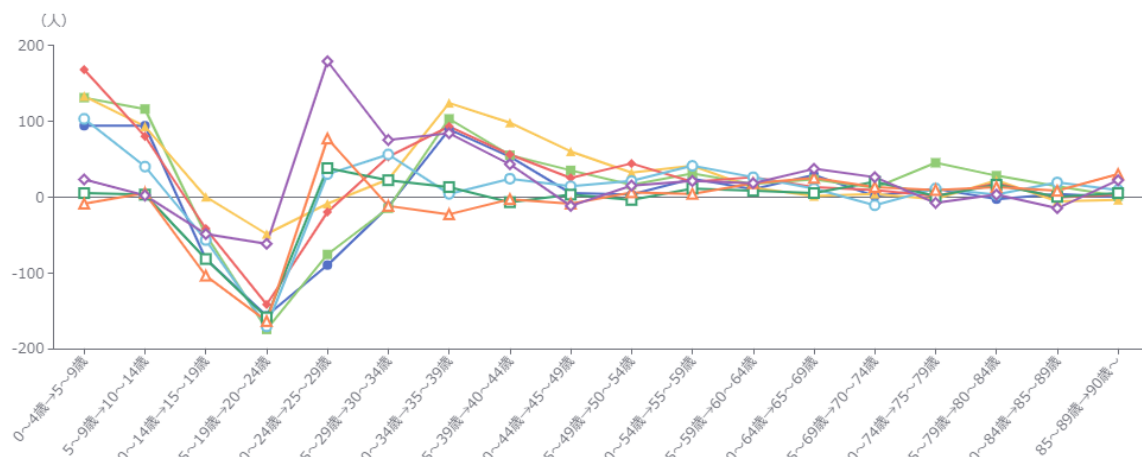
町の人口の現状・推計に係る論点

総人口に関すること

- 人口は微増傾向に、2020年国勢調査15,521人、(2005年⇒2015年は減少傾向にあった)2023年度末人口16,047人と過去最高の人口となっている。
- 交通アクセスがよく近隣と比較して地価が安いこともあり、民間による住宅整備や町によるスカイラーク整備によって転入超過が続いてきた。しかし、開発にも限界があり、民間開発の動きは鈍化することが見込まれ、転入の流れも縮小することが予測される。
- 2022・2023年は外国人の転出入が多く、本町の社会増減への影響がある。

年齢階級純移動数の時系列分析(大刀洗町)

● 1980年→1985年 ■ 1985年→1990年 ▲ 1990年→1995年 ◆ 1995年→2000年 ○ 2000年→2005年 □ 2005年→2010年 △ 2010年→2015年
 ◇ 2015年→2020年



大刀洗町の人口について、「2015年の0～4歳→5～9歳になった2020年に何人増減したか」を、5年ごとに示したものの。

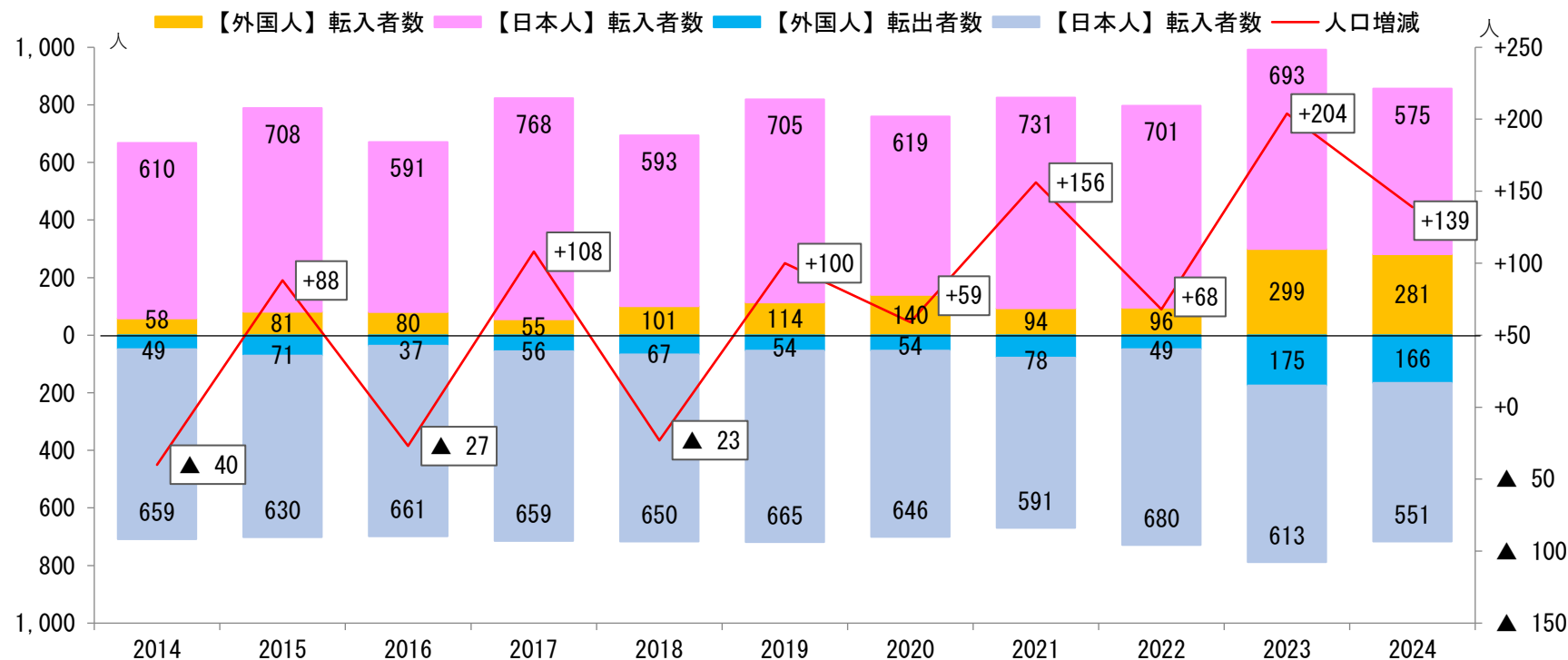
- 男女ともに
 20～24歳→25～29歳
 25～29歳→30～34歳
 30～35歳→40～44歳
 の年齢階級は2010年→2015年時と比較して増加している。
- 男女ともに
 10～14歳→15～19歳
 15～19歳→20～24歳
 は純減の傾向が続いている。

マイナスが続く

2010→2015年より純増の数値目標は改善

男女区分	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
年齢範囲	0～4歳→5～9歳	5～9歳→10～14歳	5～9歳→10～14歳	10～14歳→15～19歳	10～14歳→15～19歳	15～19歳→20～24歳	15～19歳→20～24歳	20～24歳→25～29歳	20～24歳→25～29歳	25～29歳→30～34歳	25～29歳→30～34歳	30～34歳→35～39歳	30～34歳→35～39歳	35～39歳→40～44歳	35～39歳→40～44歳	40～44歳→45～49歳	40～44歳→45～49歳	45～49歳→50～54歳	45～49歳→50～54歳	50～54歳→55～59歳	50～54歳→55～59歳	55～59歳→60～64歳	55～59歳→60～64歳	60～64歳→65～69歳	60～64歳→65～69歳	65～69歳→70～74歳	65～69歳→70～74歳	70～74歳→75～79歳	70～74歳→75～79歳	75～79歳→80～84歳	75～79歳→80～84歳	80～84歳→85～89歳	80～84歳→85～89歳	85～89歳→90歳～	85～89歳→90歳～	
1980年→1985年	59	35	46	48	-44	-38	-115	-42	-17	-73	-3	-10	41	48	32	21	8	-3	-5	8	14	10	9	1	13	16	-3	4	10	1	3	-6	-5	9	1	-1
1985年→1990年	78	53	60	56	-32	-18	-149	-26	-14	-62	-21	6	60	43	35	20	25	10	5	11	21	10	7	10	18	5	1	11	19	26	0	28	4	10	0	1
1990年→1995年	66	67	45	48	1	-1	-78	29	17	-26	26	-3	67	57	58	40	15	45	19	13	20	21	7	5	2	-1	4	0	-8	5	2	20	0	-6	-3	-1
1995年→2000年	96	72	49	31	-31	-11	-127	-15	14	-34	36	17	48	45	36	20	17	8	30	14	5	15	14	12	8	5	-1	10	-5	6	5	13	4	-5	-1	4
2000年→2005年	39	64	11	29	-26	-31	-85	-86	54	-24	57	-1	6	-2	13	11	12	2	8	13	29	12	9	17	11	0	-13	2	6	5	-5	8	9	10	0	9
2005年→2010年	4	1	16	-13	-50	-32	-128	-31	-17	55	8	14	-4	17	-3	-4	8	-5	-3	-1	15	-4	0	8	5	0	10	10	3	-2	0	16	0	0	1	4
2010年→2015年	0	-9	7	-2	-74	-30	-121	-43	57	20	38	-50	13	-36	7	-10	-12	3	15	-9	3	1	15	3	9	16	10	3	6	3	4	9	-2	10	17	13
2015年→2020年	-5	28	3	-1	-39	-10	-27	-35	99	80	68	7	50	34	39	4	-1	-11	11	4	6	15	1	17	17	20	20	6	3	-11	-5	8	-12	-3	-4	26

社会増減における外国人内訳グラフ



	【外国人】 転入者数	【日本人】 転入者数	【外国人】 転出者数	【日本人】 転出者数	人口増減	うち 外国人の増減
2014	58	610	-49	-659	▲ 40	9
2015	81	708	-71	-630	+88	10
2016	80	591	-37	-661	▲ 27	43
2017	55	768	-56	-659	+108	-1
2018	101	593	-67	-650	▲ 23	34
2019	114	705	-54	-665	+100	60
2020	140	619	-54	-646	+59	86
2021	94	731	-78	-591	+156	16
2022	96	701	-49	-680	+68	47
2023	299	693	-175	-613	+204	124
2024	281	575	-166	-551	+139	115

単位（人）、住民基本台帳関係年報調査表（各年1月1日時点）

※大刀洗町人口ビジョン10P人口増減の推移とは対象期間が異なるため等により、数値が一致していません。

推計方法

推計	
社人研推計準拠	<ul style="list-style-type: none">・国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5(2023)年推計)」(以下「社人研推計」という。)の最終的な推計結果と整合的な、各指標を利用した推計(コーホート要因法による将来人口推計)を行うことが可能である。・ただし、端数処理等の関係で、社人研推計の最終的な推計結果とは若干値が異なる場合がある。
独自推計	<ul style="list-style-type: none">・出生に関する仮定値である将来の合計特殊出生率等と、移動に関する仮定値である将来の純移動率や移動数等を独自に設定することで、推計(コーホート要因法による将来人口推計)を行うことが可能である。・移動に関する仮定値については、将来の純移動率・純移動数(いずれか一方又は両方)を男女、年齢5歳階級別に設定する。

参考:内閣府地方創生推進室「人口動向分析・将来人口推計のための基礎データ及びワークシート(令和6年6月版)の提供について」

社人研推計の純移動数(男)

	移動数							
男	2020年→2025年	2025年→2030年	2030年→2035年	2035年→2040年	2040年→2045年	2045年→2050年	2050年→2055年	2055年→2060年
0～4歳→5～9歳	-10	-20	-18	-14	-14	-15	-15	-14
5～9歳→10～14歳	-1	-0	2	2	3	3	3	3
10～14歳→15～19歳	-42	-55	-64	-53	-50	-48	-47	-46
15～19歳→20～24歳	-15	-61	-69	-82	-68	-64	-62	-60
20～24歳→25～29歳	98	54	50	56	45	42	40	39
25～29歳→30～34歳	20	31	25	26	31	28	24	23
30～34歳→35～39歳	53	2	1	7	9	10	10	9
35～39歳→40～44歳	31	-10	-1	-1	1	3	3	3
40～44歳→45～49歳	8	-12	-15	-10	-10	-8	-7	-7
45～49歳→50～54歳	31	7	7	3	6	6	5	5
50～54歳→55～59歳	-6	7	4	4	2	4	4	3
55～59歳→60～64歳	-6	2	3	3	3	2	1	1
60～64歳→65～69歳	6	-1	-1	-1	-0	0	0	0
65～69歳→70～74歳	18	7	6	6	8	8	7	7
70～74歳→75～79歳	-6	-1	0	1	2	1	2	1
75～79歳→80～84歳	8	-3	-6	-4	-2	-1	-2	-2
80～84歳→85～89歳	15	11	22	13	14	16	17	21
85～89歳→90～94歳	9	3	3	9	3	5	5	5
90歳～→95歳～	-2	3	3	3	7	5	4	4
男合計	210	-36	-48	-32	-11	-4	-7	-7

社人研推計の純移動数(女)

女	2020年→2025年	2025年→2030年	2030年→2035年	2035年→2040年	2040年→2045年	2045年→2050年	2050年→2055年	2055年→2060年
0～4歳→5～9歳	23	-12	-10	-6	-7	-8	-8	-8
5～9歳→10～14歳	-10	-13	-10	-9	-7	-7	-7	-7
10～14歳→15～19歳	-1	-23	-30	-24	-23	-22	-21	-21
15～19歳→20～24歳	-31	-21	-19	-32	-25	-24	-23	-22
20～24歳→25～29歳	21	47	55	57	44	41	39	38
25～29歳→30～34歳	-1	-14	-17	-16	-12	-18	-16	-15
30～34歳→35～39歳	44	-14	-2	-4	-4	-3	-3	-3
35～39歳→40～44歳	14	-23	-15	-5	-6	-9	-9	-9
40～44歳→45～49歳	-1	-7	-9	-6	-1	-1	-2	-2
45～49歳→50～54歳	9	2	-2	-4	-2	2	2	2
50～54歳→55～59歳	8	5	6	3	1	3	2	2
55～59歳→60～64歳	13	3	3	4	5	3	2	2
60～64歳→65～69歳	10	4	4	4	5	5	5	4
65～69歳→70～74歳	-9	3	4	4	5	5	5	5
70～74歳→75～79歳	1	-6	-6	-5	-3	-4	-4	-4
75～79歳→80～84歳	18	14	10	9	9	11	12	11
80～84歳→85～89歳	-1	5	13	8	8	9	9	10
85～89歳→90～94歳	14	9	9	21	15	15	14	14
90歳～→95歳～	3	3	2	2	6	3	3	3
女合計	124	-39	-14	2	7	-1	1	1
男女合計	335	-75	-62	-30	-4	-6	-7	-6

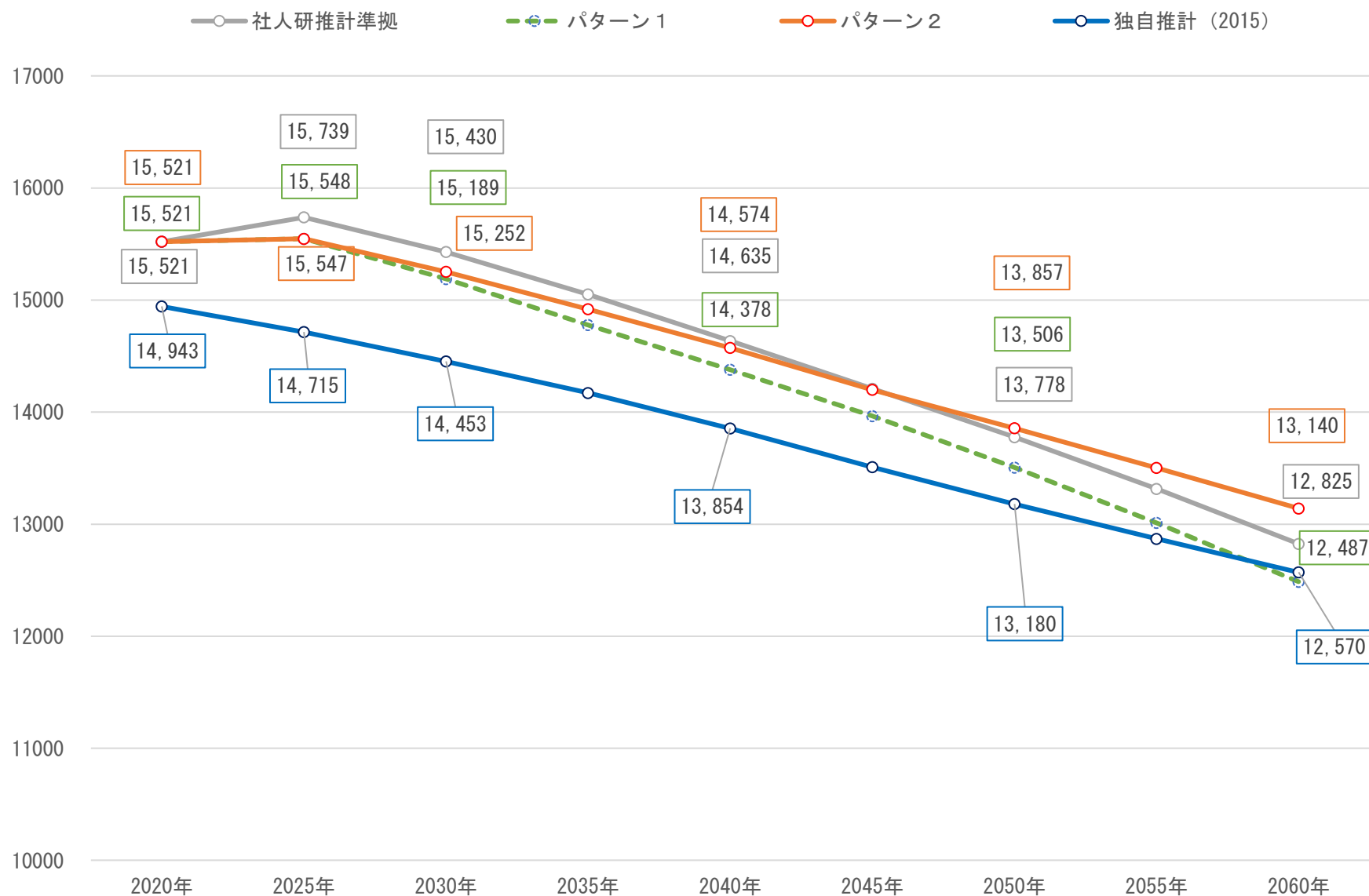
2025年→2030年以降の純移動数はマイナスが続く。→社会増による人口の確保が困難になっていくという推計

単位（人）：内閣府提供ワークシートより

独自推計(2024)の仮定値(パターン1・2)

推計	合計特殊出生率	移動
パターン1	2025年は直近2023年の出生率。 2030年以降は現行の人口ビジョンの 目標出生率 2025年:1.36 2030年:1.7 2035年:1.8 2040年:1.9 2045年:1.95 2050年以降:2.00	社人研準拠推計の移動率
パターン2	2025年は直近2023年の出生率。 2030年以降は現行の人口ビジョンの 目標出生率 2025年:1.36 2030年:1.7 2035年:1.8 2040年:1.9 2045年:1.95 2050年以降:2.00	2020年⇒2025年は社人研準拠推計 の移動率。それ以降は社会増減が拮抗 する(±0)

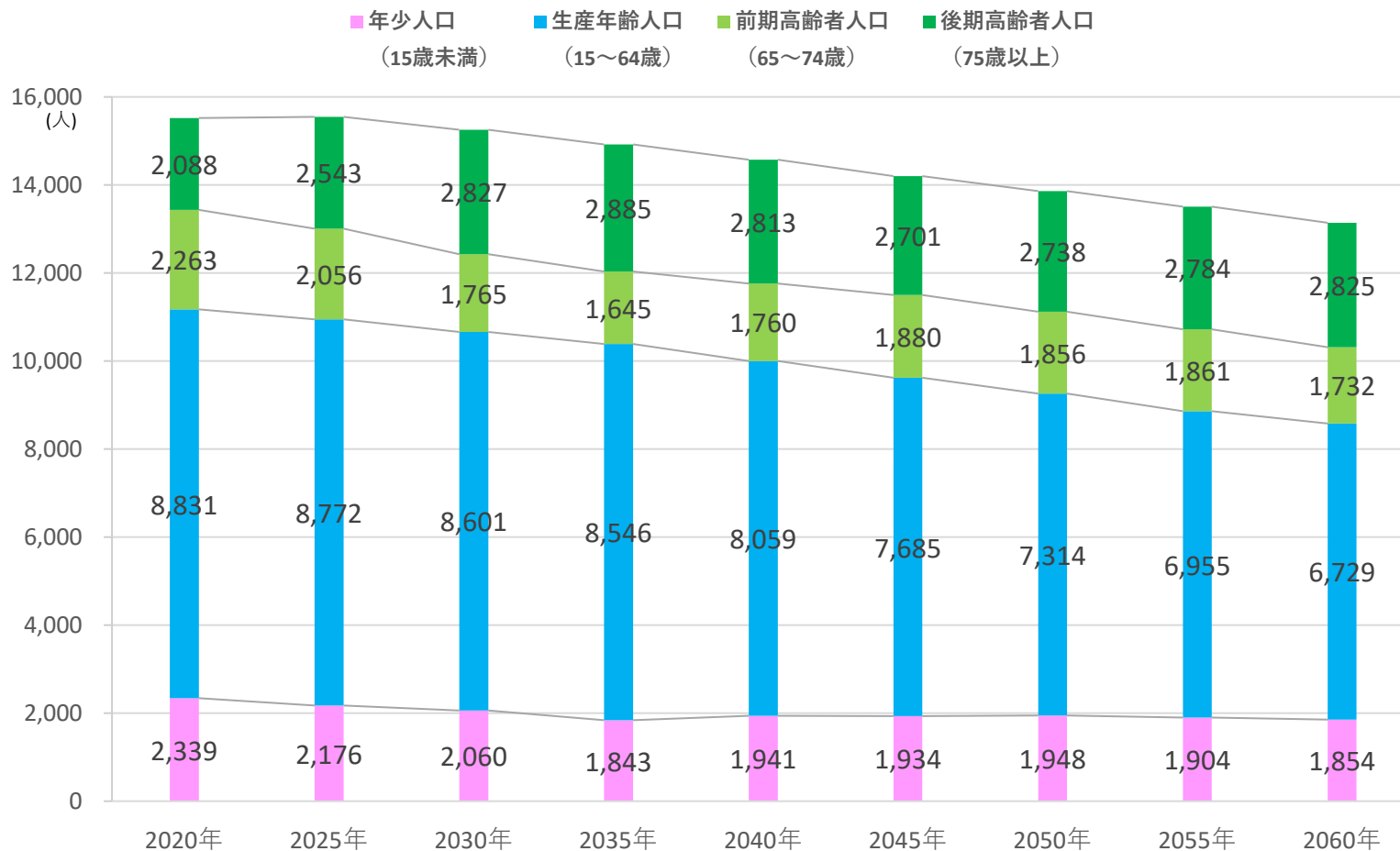
パターン1・2の比較グラフ



(単位：人)

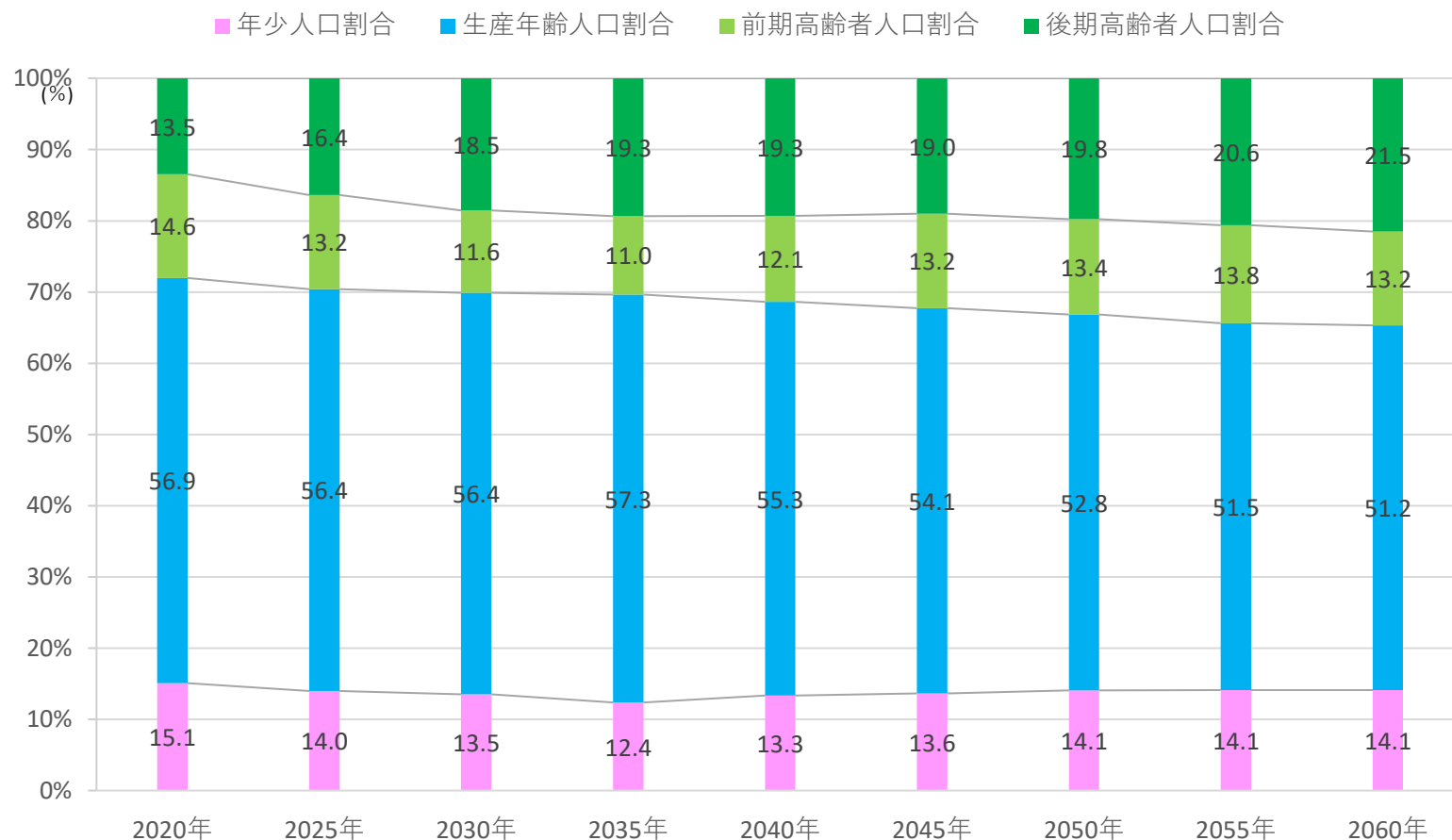
	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
目標人口 (2015)	14,943	14,715	14,453	14,171	13,854	13,509	13,180	12,870	12,570
社人研推計準拠人口	15,521	15,739	15,430	15,051	14,635	14,210	13,778	13,315	12,825
パターン 1	15,521	15,548	15,189	14,778	14,378	13,966	13,506	13,012	12,487
パターン 2	15,521	15,547	15,252	14,919	14,574	14,200	13,857	13,503	13,140
パターン 1									
H27目標人口との差	578	833	736	607	524	457	326	142	-83
社人研推計準拠人口 の差	0	-192	-241	-273	-257	-244	-271	-303	-339
パターン 2									
H27目標人口との差	578	832	799	748	720	691	677	633	570
社人研推計準拠人口 の差	0	-192	-177	-132	-61	-10	79	188	315

パターン2(年齢区分別人口の将来推計)



2020年と比較した2060年の推計人口は、**16.4%減(▲2,381人)**
 年少人口**▲485人**、生産年齢人口**▲2,102人**、前期高齢者人口**▲531人**、
 後期高齢者人口**737人増**

パターン2(年齢区分別人口の将来推計(割合))

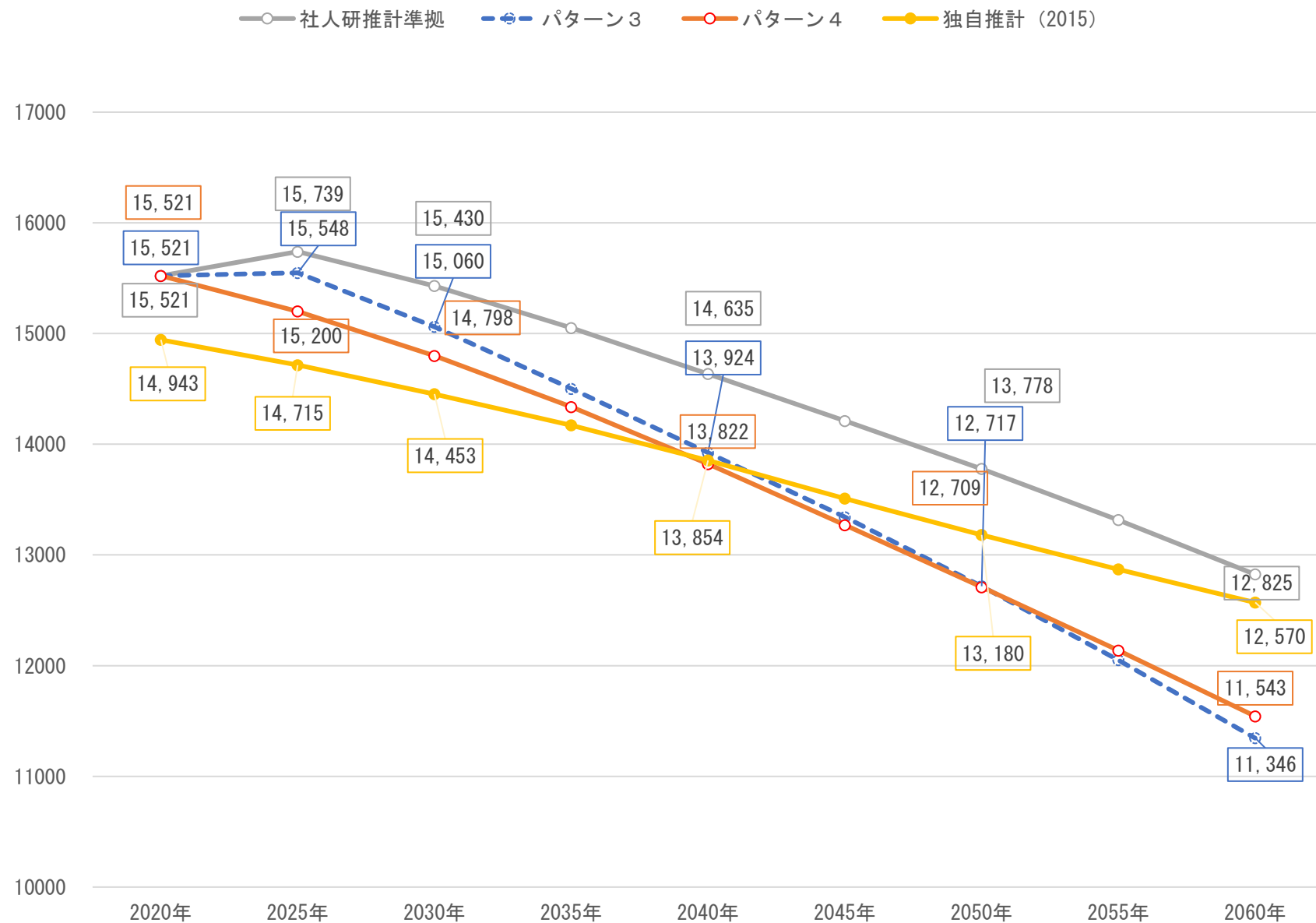


2020年と比較した2060年の年齢区分別人口の割合は
 年少人口は▲1.0%、生産年齢人口▲5.7%、
 高齢者の人口(前期高齢者+後期高齢者)6.6%増

参考: パターン3・4

推計	合計特殊出生率	移動
パターン3	2023年出生率1.36で2060年まで推移する	社人研準拠推計の移動率
パターン4	2023年出生率1.36で2060年まで推移する	社会増減が拮抗する(±0)

パターン3・4の比較グラフ



(単位：人)

	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
目標人口 (2015)	14, 943	14, 715	14, 453	14, 171	13, 854	13, 509	13, 180	12, 870	12, 570
社人研推計準拠人口	15, 521	15, 739	15, 430	15, 051	14, 635	14, 210	13, 778	13, 315	12, 825
パターン 3	15, 521	15, 548	15, 060	14, 500	13, 924	13, 342	12, 717	12, 050	11, 346
パターン 4	15, 521	15, 200	14, 798	14, 336	13, 822	13, 270	12, 709	12, 137	11, 543
パターン 1									
H27目標人口との差	578	833	607	329	70	-167	-463	-820	-1, 224
社人研推計準拠人口 の差	0	-192	-369	-550	-711	-868	-1, 061	-1, 265	-1, 480
パターン 2									
H27目標人口との差	578	485	345	165	-32	-239	-471	-733	-1, 027
社人研推計準拠人口 の差	0	-539	-632	-714	-813	-940	-1, 068	-1, 178	-1, 282